

K.UNO NEWS LETTER | Vol.04

ケイウノ オーダーメイド広報通信

毎月1回、ジュエリーやオーダーメイドに関する、さまざまなヒト・コト・モノの情報をお届けする「ケイウノ オーダーメイド広報通信」

日本初のサービス開始。 スマホやタブレットで見られる ダイヤモンドのデジタル鑑定書



ケイウノは全国に38店舗展開するジュエリーのオーダーメイドブランドです。ケイウノが取り組む活動や、サービスについて広報誌で発信しています。

今回は、先月ケイウノ銀座本店で行われた日本初導入となるダイヤモンドのデジタル鑑定書「Sarine Profile™」に関する発表会のレポートをお届けします。「Sarine Profile™」は、ダイヤモンド鑑定システムで世界シェア8割以上を占める「サリネ・テクノロジー社(本社イスラエル)」のデジタル鑑定書。ダイヤモンドの“輝き”を測定・分析したレポートや3Dルーペ機能により360度回転したダイヤモンドのビジュアルを、お手持ちのスマートフォンやタブレットで自由にご覧いただくことが可能です。

当日はサリネ・テクノロジー社Michael Goren氏(アジア支社長)や、同社のビジネスパートナーである株式会社AP伊藤拓也さんをお迎えしての記者発表と店内でのダイヤモンド研磨体験会を実施。多くのメディア関係者の方々にご出席いただいたにぎやかな発表会となりました。

ダイヤモンドの品質基準の新潮流

“輝き”に世界が注目

GW直前の4月27日。多くのメディア関係者の皆さまにご出席いただいた発表会は、中央区銀座は昭和通り沿いに面したケイウノ銀座本店2Fサロンで行われました。

近年、ダイヤモンドの新たな品質基準として注目を集めている4C以外の“輝き”に、ケイ・ウノはいち早く着目。“輝き”の厳しい独自基準を設け、自社で原石の仕入れを行い、バイヤーがルーペで確認しながら、一点一点検査を行っています。また、2006年からダイヤモンドカット技術の独自開発に取り組み、研究・開発を進めており、このほど、ダイヤモンドの鑑定システムの分野で世界シェア8割以上を誇るトップメーカー「サリネ・テクノロジー社」により、ケイ・ウノが自社研磨したダイヤモンドの“輝き”が世界基準で認められ、同社のデジタル鑑定書

「Sarine Profile™」を日本で初めて導入するに至ったのです。

発表会場となったサロンには、当日のテーマでもあるダイヤモンドの“輝き”を実際にご覧いただくために、さまざまなサイズやカットのダイヤモンドをショーケースにご用意。1カラット以上のハイグレードセレクションや、いつも一緒にいるような強い絆を感じることができるとご好評をいただいている Two-as-one (Three-as-one) Diamond(ひとつの原石から複数のダイヤをカットしたもの)。また、ケイ・ウノが長年研究・開発して生み出し、商標登録した輝き数値105%以上を「Loving Heart(ラビィングハート)」も展示させていただきました。



サリネ・テクノロジー社

1988年設立の世界初のダイヤモンド関連高精密機材メーカー。イスラエルに本社を置き、そのシェアは世界の8割以上を占める。同社のさまざまなダイヤモンド測定システムやハイエンド・スキャナなどは世界中のジュエリーメーカー、ダイヤモンドカット工場及び主要宝石鑑定機関などで使用されている。

株式会社 AP

1960年ダイヤモンド輸入自由化に伴い、第1回の輸入開始(APの前身)。71年AGTダイヤモンド鑑定書第1号取得後、翌72年株式会社AP設立。94年株式会社DMCを設立し、日本におけるダイヤモンド鑑定機関の研究所としての役割を果たす。サリネ・テクノロジー社の日本総代理店。

新たな体験方法で、ダイヤモンドの魅力をより身近に

発表会の冒頭お話いただいたのは、サリネ・テクノロジー社Michael Goren氏。同社アジア支社長を務めるGoren氏からはこんなお言葉をちょうだい致しました。

○サリネ・テクノロジー社アジア支社長
Michael Goren氏

今回ケイ・ウノさんに「Sarine Profile™」を導入いただくのはとてもうれしいことです。ダイヤモンドの「輝き」は4つの要因(Brilliance, Sparkle, Fire, Light Symmetry)をそれぞれ5段階(Exceptional, Very High, High, Standard, Minimum)で評価し、統合グレードとして9段階の評価をします。ケイ・ウノさんのダイヤモンドは、統合グレードにおいて最高評価:Ultimate★★★★(アルティメット・スリースター)を取得されました。これは実にすばらし

いことです。私たちはジュエリー業界において、常に新しいことに挑戦しイノベーションを続けるケイ・ウノさんが最新のデジタルを用いて、ダイヤモンドの新しい購買体験を広めていけることを強く期待致します。

続いて、日本におけるダイヤモンドのパイオニアであり、1994年よりサリネ・テクノロジー社と共同でダイヤモンド鑑定機器を開発、国内の宝石鑑定機関へのサポートをしている株式会社AP・伊藤拓也氏から、サービスの説明とケイ・ウノに対する期待をこんな風に語っていただきました。

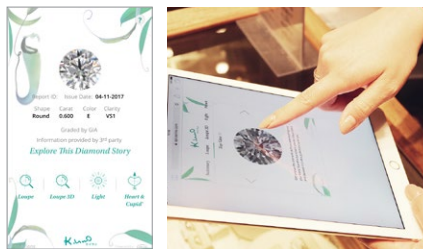
○株式会社AP 伊藤拓也氏

今回、日本初導入となった「Sarine Profile™」によるデジタル鑑定書の最大の特長は、3D画像機能により、ダイヤモンドをさまざまな

角度やサイズで自由に表示することが可能となったことです。

これまで非常に高価な商品でありながら、その詳細を見ることができなかったダイヤモンドが「Sarine Profile™」の導入により、スマートフォンやタブレットなど、お手持ちのデジタル機器でご覧いただけることになりました。ダイヤモンドに関するさまざまな情報を、デジタルで提供しているのはケイ・ウノさんが初めてです。

「Sarine Profile™」のデジタル鑑定書で、ケイ・ウノさんが持つ優れたカット・研磨技術をぜひご覧ください。



以上のようなお話をいただいた後、ケイ・ウノ代表取締役社長 久野雅彦からは「ジュエリーはモノトーンで構成されることが多い中、ケイ・ウノは温かい想いを大切にしており、各店舗のデザインは緊張感よりもリラックスを大事にした空間作りをしている。お客さまにはサロンでゆっくりくつろいでいただきたい。また、お客さまの生の声を聞きたいをカタチにすることを大切に、30年前からオーダーメイドを行っている。常に「あとちょっと」何ができるのかを考えて作っている。」などケイ・ウノの商品作りや店舗に対する想いをお話させていただきました。そして情報戦略部長 相庭聡からはダイヤモンド研磨職人として、日本の匠といわれる職人を訪ねて修行した経験や、その後、留学したベルギー時代のエピソード、ダイヤモンドのカット技術で特許を取得したことなどをお話させていただきました。前半が終了しました。

後半は発表会会場の2階から場所を移し、ショップ1階奥に設置した実際のダイヤモンド研磨機を使った研磨職人のデモや、希望された

方によるダイヤモンド研磨体験を実施。ほとんどの方が研磨は初めてということで、体験会はひとしきり盛り上がり楽しんでいただくことができました。

ケイ・ウノは、「Sarine Profile™」導入によりダイヤモンドの新しい体験をご提供することで、お客さまに自信を持って身につけていただくことができるダイヤモンドの魅力をより正確に、よりわかりやすいさまざまな形でお伝えしていければと思っています。

☆「Sarine Profile™」によるデジタル鑑定書は、ダイヤモンドをご購入いただいたお客さまの他、ケイ・ウノ各店舗にご来店いただいたお客さまのほか、ケイ・ウノのウェブサイトでもご覧いただくことができます。

<http://www.k-uno.co.jp/bridal/about/diamond/>



QRコードを読み取ると「Sarine Profile™」をご覧ください。

5月の誕生石 エメラルド

その昔、絶世の美女と言われたクレオパトラが最も愛した宝石として有名なエメラルド。ダイヤモンド、ルビー、サファイアと共に世界の四大宝石とされ、神秘的ともいえる鮮やかな緑が特徴です。「幸せな結婚」「夫婦円満」の意味を持ち、55周年の結婚記念日を「エメラルド婚」と呼びます。

